

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

October 2018

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

【若者来たれ！ユース・若手審判員宿泊研修会開催！】

8月18、19日に千葉市内で育成部主催の「ユース・若手審判員研修」が開催されました。
「受講生の自主運営」を目指した総勢16名のイキイキとした若手審判員達の姿をご覧ください！



目次

・ユース・若手審判員宿泊研修会	・・・1～4	・レフェリーフィットネスコラム	・・・9
・女子部更新実技研修会	・・・5～6	・地域で頑張っています	・・・10～11
・決勝審判員インタビュー	・・・6～8	・講習会のお知らせ	・・・11～12

1日目 @フクダ電子スクエアにて
 8:00 集合、開校式
 9:00 千葉県U-15リーグをお借りしての実技
 12:30 受講生立案のトレーニング
 13:30 競技規則テスト及び解説
 15:00 移動・入浴・食事
 19:00 FFP参加報告 (藤原陸氏：高校1年生)
 19:30 グループワーク(理想の審判像とは)
 20:30 審判報告書の書き方
 22:00 就寝

2日目 @千葉市立真砂中学にて
 6:30 起床・朝食・移動
 9:00 U-15練習試合をお借りしての実技
 13:00 千葉県U-15対受講生・スタッフ試合
 14:30 閉校式
 ※U-15リーグは公式戦4試合、練習試合は8試合をお借りし、試合後にインストラクターからの指導も行いました。

2日間のスケジュール



誰も会話をしない、緊張感漂う集合直後から一変。トレーニング後には一気に距離が縮まっていました。

《育成部より》

ユース審判員を対象とした県外研修会には

- ① 8月「FFP (Football Future Programme) 大会」=4種トレセン全国大会(日本協会主催)
- ② 9月「アントラーズカップ」=4種招待大会(関東協会主催)
- ③ 12月「全日本少年サッカー大会」=4種オープン大会(日本協会主催)

があり、育成部が毎月実施している育成勉強会への参加者及び今回の宿泊研修会の参加者の中から、千葉県を代表するにふさわしいユース審判員を推薦しています。そして喜ばしいことに、今年のFFPに参加した藤原さんは、全国大会決勝の笛の割当を獲得しています。これは彼を取り巻く環境もさることながら、本人の努力の賜物であることは間違いありません。

審判技術だけが推薦の要件とはしていません。大人になりつつある年代ですので、オフザピッチでの言動にも、毎回目を配っています。事実、前出の藤原さんにおいては、審判技術はまだまだ荒削りですが、伸びしろを感じさせ、且つピッチの外での目配り、気配りが他を凌ぐものがあり、大人からすれば当然のことですが、自分のことは自分で最後まで完結させることが出来る能力が備わっています。

これらの県外研修会への推薦、参加が審判員の最終目標ではないことは、彼らも充分理解していますが、県外に出ていくことでより多くの出会いがあり、刺激があり、人間としても大きく成長して帰ってくるということを、私は何年も体感しています。

千葉県内には3,000人を超えるユース審判員の登録があるということです。まだまだ磨けば輝く原石がゴロゴロしていると思っています。少しでも興味がある方は、毎月の勉強会(第3日曜日)に参加してみませんか?やる気があれば、必ず輝くことができますよ!



《参加者コメント》

藤原 陸氏

- 8月2日～5日のFFPという研修会に千葉県のユース審判員の代表として参加しました。FFPではポジショニングに関するセッションを行いました。僕はプレーを後ろにおいてみてしまうことが多かった中「プレーを前においてプレーを見ては？」と試合後にアドバイスを頂いたので、次の試合で意識して実践してみると、プレーの邪魔になることが少なくなり視野を広く確保することができました。それを生かして今回の研修会でも後ろから見てみると反省会で「下がってプレーを見る以外にも横や逆に前に走る動きもあるからプレーの状況によって変えてみて」と別のアドバイスをもらいました。またFFPではポジショニング以外にも「players first」ということも学び、今回の研修会ではその点についても意識し、適用したアドバンテージが得点につながったのでうれしかったです。FFPで学んだことを今回の研修会で生かし、今回の研修会で学んだことを次の試合で生かしてこれから成長していきたいです。

全国大会決勝の割当を受けた藤原さんの報告にみんな興味津々。



宮城島 毅氏 ※初参加

- 今回初めて研修に参加させて頂きました。ご指導して下さった皆様ありがとうございました。私は審判をする事が初めてだったため、参加することに心配と緊張がありました。ですが指導者の方々に基礎から丁寧に教えて頂き、また、ユースの方々の声掛けに支えられ、とても充実した研修を受けることができました。この研修で教わったことを次の練習、試合で活かせるよう心がけていきたいと思えます。大変な部分もありましたがとても楽しい研修でした。ありがとうございました。

曾木 莉玖氏

- 今回のユース審判育成会に参加しての感想は、インストラクターの方に試合後のブリーフィングで自分に出来ていなかった所やもっとこうしたらいいというアドバイスを貰って凄く自分のためになった1泊2日だったと思います。今回の研修会は、初対面の人沢山いて仲良くなれるかなと最初は不安でしたが一緒に審判団として組んだり、夜の勉強会などで仲良くなれ知り合いの審判が増えさらに自分よりも審判がうまい人が沢山いてその人のレフェリングなども見れ、とてもいい経験になりました。今回の研修会で出来るようになったことは、副審とのアイコンタクトを意識したり選手と積極的にコミュニケーションをとったりなど前までの自分だったらあまりしていなかった事で、次に審判をする時も意識していきたいなと思いました。



全日本少年大会参加審判員の映像を見て



理想の審判像!?



夜の研修会では3人一組のチームに分かれて熱弁!
「理想の審判員とは?」
各々の理想を披露しました。

平山 司氏 ※初参加

- ・今回は素晴らしい機会を与えて頂き本当にありがとうございました。僕は、春に審判資格を取ってからほとんど審判の経験はなく、研修でやらせて頂いた主審、第4の審判は先輩審判の方々やインストラクターの方に教えてもらわないと全く動くこともできない状態でした。しかし、皆さんとても優しく、間違っても丁寧に教えてくださりとても学びやすく楽しい研修になりました。ただ、ご飯の量が多くてとても苦しかったです。今後、今回の経験を活かし審判としての活動も積極的に行っていきたいと思います。来年も参加したいと考えておりますのでまた宜しくお願いいたします。

太田 和翔氏 ※初参加

「みなさんには夢がありますか？」グループディスカッションはこの問いから始まりました。審判員としての私の夢は、Jリーグの主審を務めることです。今回の研修でのユース審判員の意欲的な取組みに、私は強い刺激を受けました。また、インストラクターの方々からは、状況に応じた主審とボールとの適切な距離や副審のフラッグテクニックに加え、試合前の打合せや服装などピッチ外での活動についてもご指導いただきました。特に打合せに対しての助言は貴重であり、学びを今後に生かしていきたいです。2日目には、私が選手として出場した2013年の大学選手権で主審を務め、現在Jリーグで活躍されている清水勇人さんにお会いすることができました。自分の試合を担当してくださった方がJリーグで活躍されていることはとても嬉しく、改めて夢への想いが強くなりました。今後も今回のような勉強の機会を大切に、私もだれかに夢を与えられるような存在になりたいと思います。

《ユース・若手審判に聞きました！！》

Q&A

Q.審判活動を始めたきっかけは？

A. チームで資格が必要でやらされ…いえ、はじめました(笑)/顧問の先生が高校選手権千葉県大会決勝戦の審判をしていた為/練習試合で少しやって、きちんと資格を取りたいと思った/選手として活躍できなかった時に違う形でチームに貢献したくて/顧問の先生に勧められ/先輩がやっていたかっこいいなと思った/家族(両親など)が審判資格を持っていた

Q.審判活動をしていてよかった事、楽しい事、やる気が出る時は？

A.指導者から挑戦した事を褒められたり評価してもらえた時/成長を実感できた時/問題なく試合が終わった時/試合後にチームから「良かったです」と言われて握手を交わす時/色々な人と仲良くなれる事/県外研修会に県代表として派遣された時/仲間が全国大会などで活躍している様子を見た時/サッカーの違う面が見られる事

Q.今回の研修会に参加したきっかけは？

A.興味はあってレフェリーニュースで見かけたので/指導を受けてみたかった/審判仲間がほしかった/同世代の仲間と知り合いたかった/両親・顧問に勧められたから/更新講習を兼ねていたから

Q.参加する上で不安だったことは？

A.テストが嫌です/審判が未経験な事/友達ができるか/夜の研修会など、何をするのか全部が不安…etc

Q.審判活動をする上で困ったことは？

A.学業・部活との両立/割当がもらえないこと(3級審判昇級後に割当されます)/割当の際の交通手段…etc

最初に不安だったのは皆同じだった様です。中には更新を失念して一度失効した、しそうなったという人も。始めたきっかけこそバラバラですが、その他の回答は概ね同じものが多かった印象で、悩みや喜びは同じなのかも知れませんね！フィールドの中で選手と走れるのは審判だけ！仲間と共に切磋琢磨しましょう！！

U-18の皆さんへ！！

① 「全日本少年サッカー大会」を含む試合での活躍も目標に！

② 学業・部活を優先しつつ同世代の仲間と学べる！

③ 研修終わればU-15等から試合の割当がもらえる！

皆さんのご参加を心からお待ちしております！！



女子部更新実技研修会

8月26日(日)に、香取市立佐原第五中学校で女性対象の実技更新講習会を開催しました。毎年、香取市サッカー協会のご協力を得て、香取市ジュニアユースサッカー大会で実技講習を実施しています。今年は例年にない暑さで体調不良を訴える講習生が続出。前半と後半で主審を交替するなど、割当を基本にしつつも臨機応変に対応して下さる受講生とインストラクターの機転のおかげで、無事に1日の講習が終わりました。

佐原第五中学校の先生がたのご配慮で冷房の効いた部屋を開放いただき、フィードバックを快適な空間で行えましたし、審判の合間に涼をとらせていただき、英気を養って試合に臨むことができました。

派遣講師の黒一点の五十嵐さん、女子部からは千葉さん、遠藤さんの3人で、6試合をアセスメントしていただき、ときには副審の後方から一緒に走ってアドバイスしてくださったり、実際に審判をして手本を見せてくださったりと、内容豊富な充実した講習会となりました。その場でアドバイス、改善点を挙げていただき、なぜそうすることが有益なのかを説明してもらい、わからないことはその場で質問ができ、腑に落ちたことが多くありました。講師の五十嵐さん、千葉さん、遠藤さんに総括していただいた点をここで引用、ご紹介します。

- FK マネジメント(フリーキックを与えるということ)
クイックスタートの保証をしつつ、プレーヤー、チームの意図を感じる、試合の流れも考慮
- 動き出しについて(攻守の切り替えやフリーでボールを持っている時)
次の場所への移動を開始するために必要な情報収集、夏場の暑さの中、体力の消耗を抑えるためにも、ジョギングを利用した移動、常に早めの移動を意識して効果的に、そして必要なときにスプリントができるようにする。
- シグナル(腕を伸ばす、など審判員として信頼できる「見た目」とは)
判定や体力と違い、意識をすればできることなので、美しさも追い求めましょう。

競技規則テストを予定していましたが、時間の確保が難しく、テストを講習生に渡して各自で確認していただくことになりました。



受講生のアンケートを紹介します(一部、省略、一部改変しています)。

- いつもない暑い、暑い研修会でしたが、千葉さん、五十嵐さんのありがたいお話がたくさん聞けて楽しかった。クーリングブレイクも体験して、みんなが慣れて、スムーズに対応できるようになると良い。
- オフサイドラインの確認をして、遅れるのを怖がるのではなく、ピンポイントで確実に判定するなど初心に戻り、基本に忠実なことを再確認できました。
- 暑さの中、体力の無さを実感したものの、インストラクターの五十嵐さんに適切なアドバイス(オフサイド、明らかなファウル、フリーキックのときのポジショニングなど)をもらったことを次の試合に活かします。
- 課題を再確認できた。体力、判断力をもっとつけたい。
- 毎年参加していますが、いつも得るものがあり勉強になります。ルールの確認にしても、一日審判に携わり、同じ仲間と共有することができる貴重な時間を過ごせます。
- 3級に昇級してのはじめての更新なのと、普段レフェリー活動ができていない部分でとても不安でしたが、女性だけだったので、いろんな人の話が聞け、終わることができました。経験が少ないので、もう少し活動をしないと、と感じました。インストラクターにも的確なアドバイスを頂き、忘れないうちに自分のものになりたいと思います。
- はじめて参加しました。これから先、割当や研修で、頼るだけでなく、助け合えるようにスキルアップしていきたいです。
- 選手がサッカーに集中できるように、ゲームのコントロールができるようになればいいと毎回思います。来年も参加できるように努力していきたいです。
- 仕事とのバランスを取りながら、トレーニングを増やして、体力をつけたいと思います。

香取市サッカー協会、佐原第五中学校の先生方と生徒のみなさん、大会に参加されたチームのみなさんのご理解を得て、貴重な機会をいただき、感謝しかありません。この場を借りて御礼申し上げます。
女性審判員のみなさん、来年は是非、参加してみませんか？アットホームな雰囲気千葉県各所から集まる仲間と日頃のレプリングの悩みを話し、解消しましょう！女性だからこそその利点もありますが、あれこれ不便なことの解決策も見いだせるかもしれません。

平成30年度千葉県女子サッカー選手権大会(決勝)

2018年8月5日(日)14:00キックオフ ~千葉県総合スポーツセンター東総運動場~

順天堂大学 1(1-0,0-1)1 延長戦0-0 PK戦5-6 帝京平成大学

主審:上田 千尋氏、副審:池下 乃彩氏、林 麗華氏、第4の審判員:竹内 真理氏(文中敬称略)

連日の猛暑が続く中、女子選手権の決勝戦も非常に暑い中で行われ、延長・PK戦までもつれる大接戦となった試合を無事に終えた審判団に、東総運動場でインタビューを行いました。



Q 非常に暑い中、PK戦までお疲れ様でした。まずは試合を終えての感想を教えてください。

上田：まず選手、我々審判チームも大きな怪我等なく無事に試合を終えることができ良かったです。試合も80分で決着がつかず延長、PKまで行われ非常に熱い試合となりましたが、最後まで4人で協力して試合を進められました。これも大会運営関係者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

池下：私は、今年千葉に第二登録という形で移籍してきたばかりですが、千葉県女子の最強チームを決定する試合の副審を担当できたことをとてもうれしく思います。また、PK戦までいき、どちらのチームも攻めあっており決勝戦にふさわしい試合だと思いました。

林：去年よりも落ち着いて臨めたので、ほっとしました(笑)、同年代の女の子たちの、それも決勝戦の審判をする機会なんてあんまりないので貴重な経験でした。

竹内：大きなトラブルもなく、第4の審判としての任務を果たせてよかったです。

Q みなさん、まだお若いですが、審判を始めたきっかけと、プレーヤー経験がある方は審判していてプレーヤーとの違いを感じる時は？

上田：10代もいる中で若いと言っていたら光栄です(笑)、私は2009年に千葉県に来たのですが当時進学先の大学に女子サッカー部がなく(2015年に創部)、サッカーを続ける環境もなかったので1人でもサッカーに携わることができる審判を選びました。また、自宅に届いたレフェリーニュースに女子の初心者研修会?のページがあって直感で行ってみたい!と思い担当の方に連絡しました。当日は女子1級審判員の千葉さんが主審をやっている真後ろについて必死についていったのを覚えています。プレーヤー時代の私は体を張ってファウルをもらいにいくプレースタイルだったので時には何も考えずボールめがけて突っ込んで生傷が絶えませんでした(笑)。そう考えると、審判は試合前から気を遣って試合中も選手の表情を確認したりたくさん考えて判断したりしなければいけないのでプレーヤーよりも頭を使うんじゃないかなと思います。

池下：きっかけは、元国際主審の今泉奈美さんの試合を見たことです。奈美さんは私と同じくらいの身長ですがフィールドに入り笛を吹くと小ささを忘れてしまうほどに大きく輝いて見えました。そんな姿にあこがれたので審判を始めました。私は高校のサッカー部のマネージャーとして活動していたため、プレーヤーの経験は全くありません。

林：小学校卒業と同時にプレーヤーをやめて中学では文化部に入ったので、大会のない期間の趣味の1つとして暇つぶしになるかな~という軽い気持ちで始めました。審判を始めてから一番最初にプレーヤーとの違いを感じたことは、円陣を組まなくなったことですかね(笑)。

竹内：気持ちは若いのですが、保護者の気持ちで見守っていました(笑)。審判を始めたきっかけは、自分のママさんチームの帯同審判ならできのかなと思ったことが大きなきっかけです。中学からバスケットボールをしていたので、子供がサッカーを始めて応援に行くとパスミス、バックパス、身体接触と自分の理解を超える事象ばかりで理解ができず、そこでサッカースクールに行き始め、スクールで一緒だったママさんチームに誘われてチームに入ってはみたものの、足でボールを使えなくて…。サッカーの大変さを痛感し、プレーヤーではチームに何の貢献もできないので、審判のお手伝を始めました(苦笑)。



Q みなさんの審判歴は？

上田：私は約8年です。

池下：中学3年生の時に4級の資格を取り、活動を始めたのは高校1年生からなので約3年ほどです。

林：4級を取ったのが中学生の時に、審判歴は7年になります。

竹内：約6年くらいだと思います。

Q 上級審判を目指そうと思ったきっかけは？

上田：これと言って明確な理由が思い当たらないのですが、サッカーが好きなのでこれからもサッカーに関わっていきたいというのと、一度始めたことは続けてみようという気持ちがありました。あとは級が上がるに連れていろいろな試合を担当させていただくようになり、もっと審判が楽しくなりました！今こうやって審判を続けられているのも千葉県の先輩方に背中を押していただいたおかげですし、いつも我が子のように見守っていただいています(笑)。

池下：高校2年生の時にFFP(Football Future Programme)という研修会に参加させていただきました。その研修会は高校生が各県一人ずつ参加して、大会の審判員として笛を吹いたり、講義を聴いたりするものです。それまで私は、同年代の審判員とはあまり出会う機会はなかったのですがその研修会で、たくさんのユース審判員と出会いました。その中に、国際審判員を目指している人がいて、その人は私が今まで出会った人の中で一番自分自身に厳しい人でした。そのほかにも個性あふれるたくさんの人と出会いました。FFPの期間だけでも自分自身の審判員としてのスキルの向上を感じ、たくさんの仲間との出会いから多くの考えや生き方を学ぶことができました。だからこそ審判を続けていくことで人生にプラスになると思ったことがきっかけです。

林：色々あった気はするのですが、ユース研修で同じ年代の子が上級を目指しているのに影響を受けた点は大きかったのかなって思います。

竹内：講習会で見てもらって褒められたことと、バスケットボールの審判もしていたので、ファウルの違いとか知りたいと思って。色々なゲームの審判をしてみたいという気持ちもありました。

Q 審判のこんなところが面白い、良かったと思う瞬間は？

上田：サッカーを一番間近で見られることです！もちろん良いことばかりではないですが、拮抗した試合で際どいシーンがあった時に審判も一生懸命走って正しい判定をして選手から「ナイス！」と言われると審判やっていて良かったなって思います。

池下：選手の素顔を観客席からでもベンチからでもなくフィールドの中から見られることです。私は、高校時代にマネージャーとしてベンチからサポートしてきましたが、ベンチからではわからない部員の素顔を審判する事で見られたことはとても新鮮でした。最後に「ありがとう」と言ってくれたり、試合後にわざわざ控室まで来てくれる選手がいるのですが、そんなときはやっていてよかったな！と思います。

林：私もサッカーに関わり続けられることで、様々な方に出会えたり再会出来る瞬間です。

竹内：職場とも、同級生とも違う知り合いができて、いろいろな世代の方と話せたりできること。子供の話についていけるようになったことが良かったです。

Q 最後に今後の抱負、目標を聞かせてください

上田：心身共に健康でいること、これに尽きます(笑)！まだまだ経験は浅いですが、年齢を問わず審判をやりたい！という方が現れるように一生懸命活動していきたいと思っています。今後もよろしくお祈りします！！

池下：まだまだ知識が足りないので、知識の習得に励みたいです。体力が足りないと実感しているので体力の向上にも努めたいです。今年の東北のミニ国では、主審をさせていただきましたが、反省点しかありませんでした。来年のミニ国も参加できるように試合経験を積みたいたいです。

林：もう7年目になったのに審判の楽しみを上手く言語化できずにいるので、審判の楽しさを実感できるようになる！というのを抱負にしています(笑)、そのためにも審判は続けていきたいです。

竹内：信頼できると思われる審判になりたいのですが、まず何よりも、割り当てをちゃんと担当できるスタミナと気力などを維持することと、競技規則をちゃんと理解できる記憶力を鍛えて行きたいです。





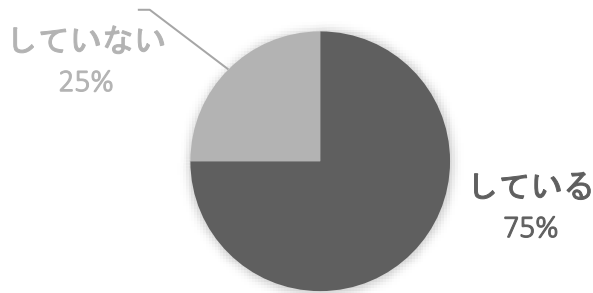
レフェリーフィットネスコラム

千葉県内の派遣審判員の方対象に、フィットネストレーニングについてのアンケートを実施させていただきました。今回は、その結果の一部をご紹介します。100名ほど回答をいただきました。ほとんどの方は3級審判員です。年齢も普段担当されているカテゴリー、担当試合数も様々という回答の中、週1~2回は審判活動のためにトレーニングをしているということでした。素晴らしいですね。



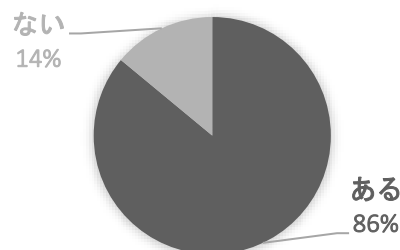
Referee Physical Coach
牛尾真一郎

審判のためにトレーニングしている

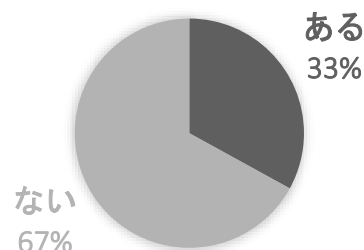


しかし、試合翌日まで疲労が残っている方が多くいることや審判活動中に怪我をしたことがある方も多くいることが分かりました。トレーニングと試合の疲労度、回復度のバランスをうまくとりながらコンディショニングをすることが大切です。

試合翌日まで疲労が残っている



審判活動中に怪我をしたことがある



早く疲労を回復し、次の試合に備えるために取り組んでみてはいかがでしょうか。

- 20分程度かけてウォーミングアップ
- 試合後のウォーキングやジョギング、ストレッチ、アイシングなどのクーリングダウン
- 試合後の適切な栄養補給
- 日常生活における睡眠確保や栄養などのセルフコンディショニング

ご質問、勉強したいことありましたらどんどんご連絡ください。

JFA Referee Physical Coach 牛尾真一郎 ushishi2010@gmail.com

地域で頑張っています！ ～ユース審判員編～

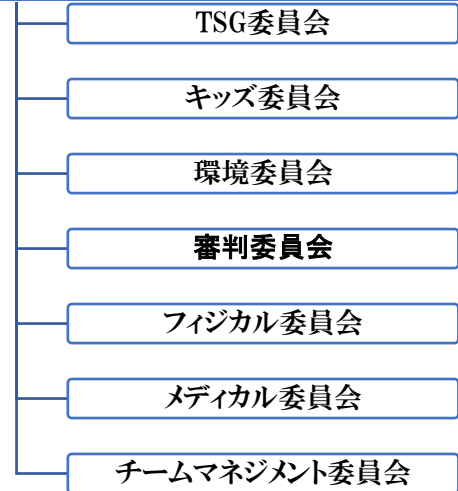
“審判の専門部がある高校があるらしい。”
そんな情報を聞きつけて、今夏の千葉県チャンピオン、市立習志野高等学校にお話を伺ってきました。

市立習志野高等学校サッカー部には、キッズ、環境、フィジカルなどいくつかの委員会があり、審判委員会もそのうちの1つとして活動を行っているそうです。部員はいずれかの委員会に加入することとなっているようです。

審判委員会の主な活動としては、県リーグでの主審、副審、競技規則改正関連の知識を他の部員へ伝達するほか、キッズコミット、中学年代、障がい者サッカーの試合の審判などが主な活動だそうです。

審判委員会で委員長と副委員長をされている祝部(ほうり)楓さんと、鈴木勇太さん、そしてこの日行われていた県リーグで副審を務めていた石井大暉さんと五味大地さんに、それぞれお話を伺わせていただきました(文中敬称略)。

市立習志野高等学校サッカー部



～ 習志野高サッカー部の組織図 ～

— いくつかの委員会活動の中から審判委員会を選んだきっかけは？

祝部: 中学の頃から審判をしていて、面白いな、と。

鈴木: 最初の希望はほかの委員会だったのですが(笑)、でも実際に審判をしてみると、その奥深さを感じています。

— 審判委員会の活動について教えてください。

祝部: 県リーグのそれぞれのカテゴリーで実際に審判を行うほか、平日に不定期ですが、随時1年生に動画などのシーンを活用して競技規則の講習を行っています。大抵の1年生が審判資格を取得するのは、1年次の終盤の時期で、公式戦の審判は2、3年生で行っています。また、学期末に、各委員会の活動報告の場で、部員から競技規則の質問に対応したりしています。

鈴木: 1部や2部リーグでは、副審ですが、Cチームが所属する4部では、主審を行うこともあります。

— 審判を始めたのはいつからですか？

石井: 高校に入学してからです。

五味: 中学で部員全員で取得してからずっと更新しています。

— 主審をする、というのは何か特別なものがありますか？

石井: ファウルをジャッジするのが、正直怖いです。

五味: 主審は、斜めに動いて、副審も、選手も見て、というのが難しいな、と思います。

祝部: アピールの声とか、プレッシャーが違いますね。

— それはベンチからの？

鈴木: いえ、選手からのです。でも、いいジャッジは褒めてもらえますし、そういうやり甲斐や魅力はあります。

— 審判の魅力って、どんなところに感じますか？

鈴木: 判定するのはとても難しいと思うのですが、オフサイドやファウルの見極めが出来た時の快感ですね。

祝部: 審判をすることによって、サッカーの見方が変わってきて、(審判をする時に)何を見なくてはいけないのか、自分がプレーする時と考えることが全然違う、という新たなサッカーに対する引き出しが増えて面白いです。

石井: 審判をしていて、いい判断をしてベンチや選手から“ナイスジャッジ！”と褒められた嬉しい経験は私もあります。

五味: 私は公式戦で主審をした経験はありませんが、副審としてオフサイドをきっちり見極められた時は、ヨシッ！という充実感を得られます。

将来、さらに上級を目指して審判としてJリーガーには？という問いかけには、審判の任務に感じるプレッシャーを理解しているせいか、なかなか積極的な意欲は聴かせていただけませんでした。皆さんそれぞれ高校を卒業する来春後もサッカー、そして審判を続けていきたい、と答えてくださいました。

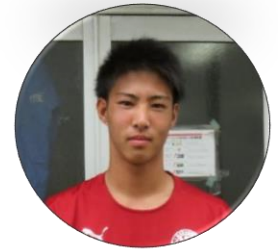
千葉県では、2種委員会の方針のもと、高校年代のユース審判員が多く誕生し、現場で実際に審判を行ってその任務の重要性に対する理解も広がっていますが、昨年度の調査では高3世代の95%が審判資格を更新せずに失効している、という厳しい現実もあります。取材を通じて、将来もサッカーに関わる意向を示す人が多い中で、審判にさらなる理解を示して、こうしたすがすがしいナイスガイの仲間の中から、審判資格も、活動もできれば継続して、将来の千葉県や日本のサッカーを審判で支えてくれる人材が現れてくれるといいな、と思いました。



五味さん(左端) と、石井さん(右端)



祝部さん



鈴木さん

《更新講習会のお知らせ(サッカー)》

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

県主催以外に、郡市協会が主催する講義または実技講習会があります。審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて『KICKOFF』(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関をご利用になってご来場ください。

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
12月23日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥6,000 ユース ¥1,500
	13:00～ 13:30	13:30～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥6,000 ユース ¥1,500
2019年 2月24日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥6,000 ユース ¥1,500

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
12月23日(日)	13:00～ 13:30	13:30～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第2～4研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	90名	有	一般 ¥6,800 ユース ¥2,000
2019年 2月24日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	スポーツ科学センター第2～4研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	90名	有	一般 ¥6,800 ユース ¥2,000

2級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
12月23日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	スポーツ科学センター第2～3研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	50名	有	一般 ¥14,500
2019年 2月10日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	スポーツ科学センター第2～3研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	50名	有	一般 ¥14,500

《2019年度登録 4級審判員新規取得講習会のお知らせ(サッカー)》

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

県主催以外に、郡市協会が主催する講習会があります。審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて『KICKOFF』(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関をご利用になってご来場ください。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2019年 1月13日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
2019年 2月10日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
2019年 2月24日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
2019年 3月17日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
2019年 3月31日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モルレル(2号線)スポーツセンター駅	160名	有	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500

《更新講習会のお知らせ(フットサル)》

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICKOFF』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
11月11日(日)	9:00～17:00	10:00～19:00	実技	浜野パデル&フットサル晴れのち晴れ	浜野駅	F3 10名 F4 10名	有
12月9日(日)	9:00～17:00	10:00～19:00	実技	浜野パデル&フットサル晴れのち晴れ	浜野駅	F3 10名 F4 10名	有

注 12月9日が今年度、最後の実技更新になります。(1月以降は更新講習会は行いません)

◆帯同審判員対象フォローアップ研修会

12月16日(日) 浜野パデル&フットサル晴れのち晴れ(参加者Web申し込み予定)

(詳細が決定次第、Webにアップいたします)

編集後記

今年の夏の暑さは記録的な厳しさでしたが、皆さん体調など崩されなかったですか。

さあ、“スポーツの秋”です。思いっきり楽しみましょう！ 私は併せて“食欲の秋”も楽しみたいと思います。(ATSU)

レフェリーニュース編集員

染田 洋

唐崎 敦好

木川 綾

長谷川 鉄哉

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail : cfarc.somu@gmail.com



http://cfa-referee.lolipop.jp/

